



最初にお読みください

TenQ **AT-TQ2403** リリースノート

この度は、AT-TQ2403 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.1.0

2 本バージョンで追加された項目

ファームウェアバージョン 1.1.2 から 2.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

2.1 基本設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「基本設定」](#)

「起動からの経過時間」が表示されるようになりました。

2.2 イーサネット設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「イーサネット設定」](#)

- Web 設定画面へのアクセスを許すコンピューターを、IP アドレスで制限できるようになりました。
- 無線 LAN からの本体宛アクセスを禁止できるようになりました。

2.3 無線 LAN 設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線 LAN 設定」](#)

「リンクリレー」が追加されました。リンクリレーを有効にした場合、10BASE-T/100BASE-TX ポートのリンクがダウンすると、無線の電波を停止します。

2.4 VWN

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)

VWN ごとに接続可能な無線クライアント数を設定できるようになりました。

2.5 負荷分散

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「負荷分散」](#)

負荷分散が無線インターフェースごとに設定できるようになりました。

2.6 不正 AP トラップ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「不正 AP トラップ」](#)

既知のアクセスポイントのリストに存在しないアクセスポイントを検出し、イベントログに記録する機能を追加しました。

2.7 セキュリティー

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「セキュリティー」](#)

- セカンダリー RADIUS サーバーを指定できるようになりました。
- RADIUS サーバーのポート番号を指定できるようになりました。

2.8 インターフェース

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「インターフェース」](#)

「インターフェース」画面で、イーサネットのポート状態を表示できるようになりました。

2.9 イベント

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「イベント」](#)

レポートがイベントログとして記録されるようになりました。

(例) Jan 1 00:00:12 notice syslog Device boot up

2.10 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

以下の SNMP トラップをサポートしました。

- ・ coldStart
- ・ linkDown/linkUp
- ・ authenticationFailure

※サポートするトラップは SNMPv1 のみです。

2.11 Ping

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「Ping」](#)

「Ping」画面を追加しました。

2.12 NTP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「NTP」](#)

- NTP サーバーとの同期を自動的に行うか否かを設定できるようになりました。
- NTP サーバーと時刻同期を行う間隔を設定できるようになりました（分単位）。デフォルトは「10」です。
- タイムゾーンを設定できるようになりました。

2.13 アップグレード

 [ユーザーマニュアル] / [本製品の設定] / [保守管理] / [アップグレード]

ファームウェアの「ビルド番号」が表示されるようになりました。

2.14 オンラインヘルプ

 [ユーザーマニュアル] / [設定の手順] / [オンラインヘルプ]

オンラインヘルプに Open source software のライセンスを表示する画面を追加しました。

3 本バージョンで仕様変更された機能

ファームウェアバージョン 1.1.2 から 2.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の仕様変更が行われました。

3.1 設定のバックアップ

バックアップの際に、設定ファイルを暗号化して保存する機能を削除しました。

3.2 ファームウェアのアップグレード

アップグレードのために提供するファームウェアのファイル形式を tar から img に変更しました。

3.3 Web 設定画面

- 標準表示形式を「水平タブ」から「ドロップダウンメニュー」に変更しました。
- Web 設定画面を日本語化しました。それに伴い、言語選択機能を削除しました。
- 文字サイズ変更の機能、カラースキーム変更の機能を削除しました。
- クエスチョンマークのハイパーリンクを削除しました。
- 「無線」画面の「送信出力」の設定方法を、手入力からドロップダウンに変更しました。
- Web 設定画面のタイトルバーに表示される文字列のフォーマットを、次のように変更しました。
「DNS ホスト名」 - 「IP アドレス」 - 「サブメニュー名」
(例) AT-TQ2403 - 192.168.1.230 - 基本設定

3.4 オンラインヘルプ

オンラインヘルプを日本語化しました。

4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.1.2 から 2.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 4.1 VWN（バーチャル・ワイヤレス・ネットワーク）が有効の場合、本製品を再起動すると有線と無線間の通信ができなくなっていました。これを修正しました。
- 4.2 「WDS」画面の「リモートアドレス」を変更した場合は、設定を適用した後に本製品を再起動する必要がありましたが、これを修正しました。
- 4.3 「WDS」画面の「暗号化」に「WPA (PSK)」を設定した場合、無線クライアントとの通信で「WPA エンタープライズ」を使用するよう設定すると、アクセスポイント間の接続ができませんでした。これを修正しました。
- 4.4 「WDS」画面で「WEP」の「有効」ラジオボタンを選択したままにすると、「暗号化」で「無し（プレーンテキスト）」を選択しても WEP が使用されていましたが、これを修正しました。
- 4.5 「セキュリティ」画面で「WPA パーソナル」を選択し、「WDS」画面で「WPA パーソナル」を選択した後、「無し（プレーンテキスト）」を選択すると通信ができなくなっていました。これを修正しました。
- 4.6 「負荷分散」画面の「接続解除を行わない無線クライアント数」に「0」を設定すると、0 台になるまで無線クライアントを切断していましたが、切断しないよう修正しました。
- 4.7 「MAC フィルタリング」画面で 1024 件の無線クライアントを登録した状態で、クラスターを開始すると、全件が共有されませんでした。これを修正しました。
- 4.8 「ユーザー管理」画面の「リアルネーム」を空欄にしてユーザーを登録すると、ユーザー情報の編集ができませんでした。これを修正しました。
- 4.9 RADIUS 認証要求の NAS-IP-Address の値が 127.0.0.1 (LocalHost) となっていました。これを修正しました。
- 4.10 本製品の起動時に、「イベント」画面に不明なログが表示され、syslog サーバーにも送信されていましたが、これを修正しました。
- 4.11 「送信 / 受信」画面の「送信」の「イーサネット」(eth0) の「総バイト数」に表示される値に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 4.12 eth0 インターフェース (10BASE-T/100BASE-TX ポート) の ifSpeed が常に 10Mbps を返していましたが、これを修正しました。
- 4.13 「SNMP」画面の「Read Only のコミュニティ名」と「Read/Write のコミュニティ名」を同一にした場合、エラーを出すように修正しました。
- 4.14 起動時に NTP サーバーへの接続が失敗すると、次の NTP パケットの送信は 24 時間後となっていました。これを修正しました。

- 4.15 「VLAN ID」と「管理 VLAN ID」に異なる VID が設定されているバックアップファイルをリストアすると、「管理 VLAN ID」の VID では接続できず、「VLAN ID」の VID で接続が可能となっていました。これを修正しました。
- 4.16 バックアップした設定ファイルをリストアし、再び設定ファイルとしてバックアップすると、設定ファイルに重複した項目が存在していましたが、これを修正しました。
- 4.17 Internet Explorer で「MAC フィルタリング」画面を表示すると、「リスト上の全てのステーションをブロックする」のラジオボタンが適切な位置に表示されませんでしたが、これを修正しました。
- 4.18 「MAC フィルタリング」画面の「無線クライアントのリスト」に同一の MAC アドレスは重複して登録できないよう、修正しました。
- 4.19 「アップグレード」画面の「プラットフォーム」に表示される名前を「AT-TQ2403」に修正しました。
- 4.20 「アップグレード」画面の「新しいファームウェアイメージ」で空ファイルを指定するとエラーが表示されていましたが、これを修正しました。
- 4.21 「チャンネル自動管理」画面のチャンネル固定のチェックボックスが、IEEE 802.11a、IEEE 802.11b/g の両方に対して同時に適用されるよう、修正しました。
- 4.22 「無線」画面の「速度制限」と「パースト時の速度制限」に範囲外の値は入力できないよう、修正しました。
- 4.23 「イベント」画面の「リレーホスト」入力欄で、IP アドレスの書式チェックが行われるよう、修正しました。
- 4.24 「設定」画面でご購入時設定への初期化ができないことがありましたが、これを修正しました。

5 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン **2.1.0** には、以下の制限事項があります。

5.1 本製品のご使用にあたって

- 本製品の Web 設定には、必ず Microsoft Internet Explorer Version 6 または 7 をご使用ください。
- 各 Web 設定画面の「適用」ボタンをクリックした後は、画面が再描画されるまで、Web 設定画面の操作を行わないでください。操作を行うと、Web 設定画面にアクセスできなくなることがあります。
- 本製品の起動中は、ネットワークの使用をお控えください。本製品がトラフィックを受信している場合、起動しないことがあります。

5.2 イーサネット設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「イーサネット設定」](#)

「イーサネット設定」画面の「無線 LAN からの本体宛アクセスを限定」を「有効」にしても、無線クライアントからの SNMP SET が可能です。「SNMP」画面の「SNMP リクエストの送信元を制限」を有効にし、不特定の無線クライアントからの SET を回避してください。

5.3 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)

「無線」画面で「無線」を「2」、「ステータス」を「オフ」にして電源を入れ直すと、Web 設定画面でチャンネルが正しく表示されません。

5.4 VWN

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)

- 「VWN」画面で各々の VWN を有効にし、いったん無効にしてから再度有効にすると、VWN の設定のうち、VLAN ID の設定だけが削除されます。SSID やセキュリティなどの設定は残ります。
- 「VWN」画面の「セキュリティ」で「スタティック WEP」を選択した場合、認証方式の選択ができません。実際には「オープンシステム」認証が行われます。
- 有効な VWN の数が増えると、MAC フィルタリングの設定が、すぐに反映されないことがあります。VWN と MAC フィルタリングを併用する場合は、MAC フィルタリングの設定後に本製品を再起動してください。

5.5 WDS

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「WDS」](#)

WDS を使用するように設定しているときは、本製品と無線クライアントの通信に IEEE 802.11a (無線 1) の W53 のチャンネル (52、56、60、64) または Auto を選択しないでください。これらを選択すると、WDS 間の通信ができなくなることがあります。

5.6 クラスタ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「クラスタ」](#) / [「アクセスポイント」](#)

クラスタを開始すると、「設定」画面の「初期化」ボタンが機能しないことがあります。その場合は、再度「設定」画面の「初期化」ボタンをクリックするが、本製品背面のリセットボタンを 5 秒間押し続けてください。

5.7 送信 / 受信

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「送信 / 受信」](#)

「送信 / 受信」画面で表示されるスループットの値が正しくありません。

5.8 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

- トラップ送信先の「ホスト名」に IP アドレスが入力されていると、「SNMP」を「無効」にできません。「SNMP」を「無効」にする場合は、「ホスト名」の内容を削除してください。
- 本製品を起動してから長時間（8 日間程度）経過すると、MIB-II の system.sysUpTime の値が正しくなくなることがあります。Web 設定画面では正しい値を表示します。

5.9 ご購入時設定への初期化について

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

- 「設定」画面の「ご購入時設定への初期化...」によって再起動した場合は、鍵ペア生成のために数分（最長 10 分程度）かかることがあります。再起動が完了するまで、電源を切らないでください。
- 「設定」画面でご購入時設定への初期化を実行後、「負荷分散」画面の値が「Undefined」となり、画面下にはエラーメッセージが表示されることがあります。

5.10 設定のリストアとバックアップ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

「設定」画面の「設定のリストア...」で空ファイルを指定すると画面下にエラーが表示されません。

5.11 ファームウェアのアップグレード/ダウングレード

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「アップグレード」](#)

ルーター経由でファームウェア更新を行うと、動作状況を把握できなくなる場合がありますが、約 4 分後にはファームウェアが更新され正常に起動します。設定を続ける場合は、再度本製品の Web 設定画面に接続してください。

6 ユーザーマニュアルの補足

同梱の CD-ROM に収録されているユーザーマニュアル (613-001037 Rev.A) の補足事項です。

6.1 入力文字列について

本製品の Web 設定画面では、文字列の入力に半角英数字のみを使用できます。

- ASCII 以外の文字コードを含むユーザー情報は編集できません。

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ユーザー管理」](#)

- ダブルクォート「"」を含むネットワーク名（SSID）は使用できません。

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「基本設定」](#)

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線 LAN 設定」](#)

6.2 VWN について

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)

- VWN 機能を有効にすると、クラスター機能が動作しないことがあります。VWN 機能とクラスター機能を併用する場合は、「イーサネット設定」画面の「内部ネットワークインターフェースの設定」の「VLAN ID」と「管理 VLAN ID」に同じ値を設定してください。
- 有効な VWN の数が増えると、本製品の CPU の負荷が高くなりスループットが低下します。有効にする VWN の数は、5 個までにするをお勧めします。

6.3 ユーザー管理

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ユーザー管理」](#)

「リアルネーム」に「&」や「<」が含まれていると、ユーザーを登録できません。

6.4 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)

「無線」画面で「無線 1」または「無線 2」のどちらか一方の「ステータス」を変更すると、もう一方の無線も一時的にリンクダウンします。

6.5 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

- Link UP/DOWN トラップは、無線接続された SNMP マネージャーには送信されません。
- 10BASE-T/100BASE-TX ポートの Link UP/DOWN トラップは生成されません。

6.6 NTP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「NTP」](#)

本製品で表示される時間は、NTP サーバーより最大 20 秒遅れます。

6.7 設定のリストアとバックアップ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

バックアップした設定ファイルを本製品にリストアし、再度バックアップすると、異なったサイズの設定ファイルが生成されます。

6.8 ファームウェアのアップグレード / ダウングレード

 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「保守管理」 / 「アップグレード」

専用書き換えプログラムで、V.1.1.2 → V.2.1.0 のアップグレードを行うと、SNMP マネージャーで SET されていた項目（ロケーションなど）がリセットされます。

7 ファームウェアのアップグレードとダウングレード

重要：アップグレードやダウングレードは、運用中には行わないでください。アップグレードやダウングレードに失敗するだけでなく、本製品が起動できなくなる可能性があります。

重要：専用書き換えプログラムを実行するコンピューターは、AT-TQ2403 と同一のネットワークに接続してください。ルーターを経由すると、専用書き換えプログラムが正常に動作しないことがあります。

本製品のファームウェアのアップグレード、ダウングレードは下記の専用書き換えプログラムで行います。

V.1.1.2 → V.2.1.0 : TQ_Firm_Upgrader_V112_to_V210.zip

V.2.1.0 → V.1.1.2 : TQ_Firm_Downgrader_V210_to_V112.zip

プログラムは、弊社ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

アップグレードの手順は、下記のとおりです。ダウングレードでは、ファイル名を Downgrader に読み替えてください。

V.1.1.2 よりも前のバージョンからの V.2.1.0 へのアップグレードは、本製品の Web 設定画面で V.1.1.2 にバージョンアップした後、下記の手順を実行してください。

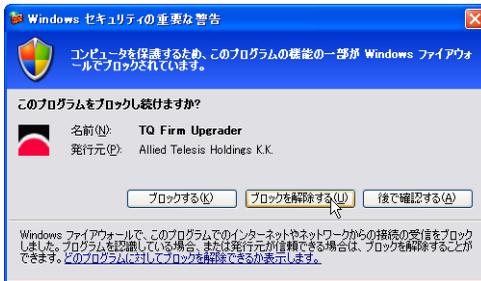
1. 安全のために設定のバックアップを取ってください。また、ダウングレードの場合、設定を引き継ぐためにはバックアップファイルをリストアする必要があります。
2. クラスタ機能を有効にしている場合は、クラスタ機能を停止してください。
3. 「MAC フィルタリング」画面の「無線クライアントのリスト」に MAC アドレスが登録されている場合は、すべての MAC アドレスを削除してください。
4. 専用書き換えプログラムを解凍し、「TQ Firm Upgrader.exe」をダブルクリックしてください。



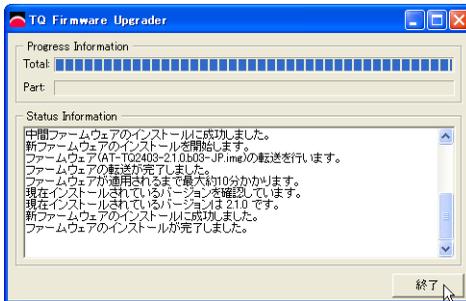
5. 「IP Address」 にアップグレード対象となる AT-TQ2403 の IP アドレスを入力し、「Password」 に管理者 manager のパスワードを入力して、「OK」 をクリックしてください。



6. 下記が表示される場合は、「ブロックを解除する」をクリックしてください。



7. ファームウェアが適用されるまで、最大約 20 分かかります。アップグレードが完了したら、「終了」をクリックしてください。



重要：ファームウェアのアップグレードやダウングレードの実行中は、本製品の電源をオフにしたり、再起動しないでください。アップグレードやダウングレードに失敗するだけでなく、本製品が起動できなくなる可能性があります。

8. ログファイルが保存されます。
ログファイルは「IP アドレス .log」という名前を持ちます。



9. **アップグレードの場合**、V.1.1.2 のときの設定は V.2.1.0 に引き継がれます。
ただし、手順 3. で「無線クライアントのリスト」を削除した場合は、手順 1 のバックアップをリストアしてください。また、手順 2. でクラスター機能を停止した場合、再度クラスターに参加する際は、「ユーザーマニュアル」/「本製品の設定」/「クラスター」/「アクセスポイント」に記載されている内容に注意してください。
ダウングレードの場合、ご購入時設定に初期化されます。V.2.1.0 のときの設定を V.1.1.2 に引き継がせたい場合は、手順 1. のバックアップファイルを「保守管理 / 設定」画面でリストアしてください。

8 ユーザーマニュアルについて

最新のユーザーマニュアル (613-001037 Rev.A) は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記のユーザーマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのユーザーマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

